

PFAS対策技術コンソーシアム

Consortium for analysis and remediation of per- and poly-fluoroalkyl substances (CAR-PFAS JAPAN)

沿革

環境研究総合推進費 5-2401 「環境中PFAS の包括的評価を目指した総PFAS スクリーニング測定技術の開発」(2024年4月より2027年3月)の「国民との対話」および日欧科学技術協力 (FORMAS/PARC) 等をリソースとし、2021年6月より2025年3月まで活動(会員要請により1年延長)した「産総研PFAS対策技術コンソーシアム」を前身とします。

産総研組織としては解散するものの、多数の継続要望を受け、株式会社キャンパスクリエイトが事務局となる新体制で任意団体として活動を継続しています。

体制

代表	山下信義 博士	
協力エキスパート	谷保佐知 博士	
協力エキスパート	エーレブルー大学	Leo Yeung 博士
協力エキスパート	スウェーデン農業科学大学	Lutz Ahrens 博士
協力エキスパート	南京大学	Si Wei 博士
協力エキスパート	ストックホルム条約コンサルタント	Roland Weber 博士
事務局窓口/コーディネーター	株式会社キャンパスクリエイト	渡邊礼菜

代表コメント

2021年に産総研で開始したPFAS対策技術コンソーシアム(CAR-PFAS)により、それ以前の「リスク評価 only」の国内PFAS問題認識から「PFAS環境修復技術の実用化」へと大きく舵取りに成功しました。2025年からの新体制では事務局を広域型TLOである株式会社キャンパスクリエイトに移管する事で、全ての産業界とアカデミアの連携を国際レベルで可能にし「多種多様な発生源の存在」と「特定産業界だけでは全体像の把握が困難」な事がPFAS問題の本質である事を明確にしました。特にISO21675等PFASに関わる国際標準化活動、世界初の総PFAS測定技術や Nature C/AI他、世界Top 1% 高引用件数論文等で確立した国際的知名度により、多数の国際連携も進行中です。欧州・中国の著名なPFAS専門家を国外スーパーバイザーとして迎える事で、ECHA規制などの「黒船」をも利用可能であり、国内外マッチングだけでなく、国内産業構造の根本的な刷新が期待できます。旧コンソーシアム設立時には政府担当者でさえ「PFASは分解できるのですか?」と質問していましたが、現在ではPFAS分解・環境修復をビジネスチャンスとして国内でも様々な技術が開発されています。「PFASユーザー」企業でさえ「PFAS対策をどのように進めるべきか」についてCAR-PFASと連携する事で業界全体の意思決定を図っています。従って、国内のPFAS対策を妨害している「バイアスのかかった二次情報」に惑わされず、CAR-PFASの提供する「一次情報」を利用する事で「PFAS問題の失われた15年」を取り戻す事は十分可能です。

「地球規模のPFAS問題に対して、国際社会の一員として日本に何ができるか」を考える時間は終わりました。後は実際に行動するだけです。国民の皆様全てのPFAS問題解決に貢献する機会をCAR-PFASコアメンバー一同お待ちしております。

PFAS対策技術コンソーシアム代表
山下信義



事務局ご紹介



株式会社キャンパスクリエイト
CAMPUS CREATE Co.,Ltd.

会社名：株式会社キャンパスクリエイト
資本金：8,160万円（2007年10月増資）
設立：1999年9月1日
承認：承認TLO（経済産業省・文部科学省）
株主：電気通信大学教職員、卒業生他 計127名
従業員数：45名

広域TLOとしての実績

日本全国の大学、研究所、公設試研究機関等の研究機関を対象とした連携支援を実施。
2026年4月時点で、延べ86大学、累計4000件以上の連携ご支援実績があります。

産学官連携事業

企業のニーズを理解し、広域TLOとして研究者探索や共同研究の体制構築、知財活用など多様な産学連携を提案し、伴走支援いたします。

大学・研究機関向け 支援事業

研究成果の社会実装や連携先探索、スタートアップ支援などを通じ、大学・研究機関の産学連携活動を幅広く支援します。

国際連携支援事業

国際特許の活用や研究シーズの社会実装、ライセンス、商用化、パートナー開拓を通じ、グローバルオープンイノベーションを推進・支援します。

産業振興事業

地域の課題解決と持続的成長の支援を通じて、自治体の長期的なパートナーとして、地域のイノベーションを共に実現します。

CAR-PFAS担当コーディネーター
渡邊 礼菜
pfas.info@campuscreate.com



コンソーシアム会費

- ・個人会員 年間 4万円(税抜) ※1名のみ入会登録
- ・企業会員 年間 10万円(税抜) ※同法人から何名でも登録可能

▽新規ご入会はこちらから

<https://www.campuscreate.com/pfas-office/admission/>

会費内での提供メニュー

- ・メルマガによる関連イベント情報配信 月1回
- ・メルマガによるニュース配信 2か月に1回
- ・会員限定オンライン会議への参加 年3回程度(随時企画)
- ・講演会等への無料参加 随時計画
- ・欧州見学会のご案内(別途参加費必要) 年1回予定
- ・会員間マッチング 随時
- ・PFAS対策製品開発分科会 WG立ち上げ支援 随時

※産総研への共同研究や技術コンサル相談検討に際し、事務局経由にて先生方へのメールでの事前相談も可能です。
共同研究や技術コンサルには別途産総研との契約が必要となります。

▽新着ニュースは、下記のようにリンク付きでPFAS関連の一次情報を10件～15件程度掲載したものです。
月によっては山下信義代表による特集コラムなどを掲載する場合がございます。

- ・ Exposure to PFAS and respiratory and skin effects in children and adolescents - Georges Hatem
<https://doi.org/10.1016/j.jhazmat.2025.137978>

PFAS への曝露と小児および青年における喘息の発症、喘鳴、アトピー性皮膚炎、湿疹、曝露のタイミング、性別等のレビュー。バイアスのリスク、研究間の異質性、エビデンスの質の評価を含む、複数のデータベースにおける包括的な検索の結果、このレビューには 28 件の観察研究が含まれ、その多くはすべての領域でバイアスのリスクが低いと評価された。

NEW! 有料新メニュー**研究者との面談メニュー**

今年度から連携専門家への1時間枠での単発技術コンサルティング面談が可能なメニューを開始しました。新メニューのため、山下代表との面談に限り、先着無料枠を数枠のみご用意致します。無料枠にあたった方には、来年度メニューに掲載する会員一言コメントにご協力いただきます。有料枠も含めて、先着順で先生のご予定次第にて対応可能件数を決定します。ご了承ください。

面談申し込みが可能な専門家

- 1 当コンソーシアム 山下信義 代表
※全体で月1~2件程度、先生のご都合により件数調整。
- 2 産総研 環境創生研究部門 副部門長 谷保佐知 先生
※枠数や時間については、谷保先生のご都合次第にて要相談。
- 3 エーレブルー大学 准教授 Leo Yeung 先生
- 4 ストックホルム条約コンサルタント Roland Weber 博士

海外専門家へのご相談は、
山下代表の同席にて、
日本語でのご相談も可能です。

本面談ではNon-confidentialでの初回相談を想定します。NDAを取り交わした上での本格相談を行います。その他ご質問については、事務局までお問合せください。

2025年度イベント一覧_1

・5月12日

会員限定オンライン会議実施。

環境省へ協力依頼し、環境省公募事業についてのオンライン説明会開催。

▽関連URL

https://www.env.go.jp/press/press_00270.html

・5月22日

環境研究総合推進費5-2401(環境中PFAS の包括的評価を目指した総PFAS スクリーニング測定技術の開発)に関する研究発表会 / 「国際連携PFASラボ 666 (トリプルシックス)」研究発表会

※産総研主催、PFAS対策技術コンソーシアム事務局であるキャンパスクリエイトによる運営協力。

▽詳細

<https://staff.aist.go.jp/nob.yamashita/image/2025may22.pdf>

・6月23日

PFAS対策製品開発分科会発足。

第1回セミナー開催

「PFAS代替材料開発への挑戦：国内類似研究事例やアプローチ手法のご提案」

▽詳細

<https://peatix.com/event/4444130?lang=ja-jp>

<https://www.campuscreate.com/news/5388/>

2025年度イベント一覧_2

・6月24日

国際連合工業開発機構(UNIDE/MTEC/Thailand)におけるPFAS専門家との国際講演会
(仮題：タイにおけるPFAS問題解決のための国際協力 - PFAS対策技術コンソーシアムの役割)
(UNEP/GEF Global Chemicals Monitoring Program (2025-2030))

▽詳細

<https://staff.aist.go.jp/nob.yamashita/image/2025jun24.pdf>

・9月2日

会員限定オンライン会議実施。

▽概要

コンソーシアム事務局にてPFASに関する質問を募集し、事前に取りまとめ、
オンライン勉強会にて一括して山下代表にご回答頂く形式での勉強会開催。
回答資料は、会員限定ページにて公開中。

・9月18日

PFAS対策のグローバルトレンドと技術の最前線
※Plug & Play社と(株)キャンパスクリエイトの共催イベント

▽詳細

<https://www.campuscreate.com/news/5762/>

2025年度イベント一覧_3

- ・ 10月9日～10月15日 欧州PFAS対策技術現地見学会

▽詳細

<https://staff.aist.go.jp/nob.yamashita/image/news2025may16.pdf>

- ・ 10月15日～17日

FOOD展出展 PFAS対策技術コンソーシアムパビリオンとして希望の会員企業と合同出展

- ・ 10月31日

2025年度産総研エネルギー・環境シンポジウムシリーズ

「有機フッ素化合物等の化学物質を巡る課題と技術革新の現在地

— 環境と産業の共生を支える測定・処理・管理技術の最前線—」

※産総研主催、PFAS対策技術コンソーシアム共催

▽詳細

<https://www.campuscreate.com/news/5613/>

2025年度イベント一覧_4

- ・ 2025年12月15日
Pacifichem 2025 (Deciphering the impact of PFAS on Environment and Health, アメリカ化学会(ACS)とPFAS対策技術コンソーシアムの国際共同シンポジウムへの参加
<https://staff.aist.go.jp/nob.yamashita/image/2025dec15.pdf>
- ・ 2025年12月
SEMIコンジャパン 会員である栗田工業様のブース内にてPFAS対策製品開発分科会についてポスター出展
- ・ 2026年1月28日～30日
InterAqua 2026出展 PFAS対策技術コンソーシアムパビリオンとして希望の会員企業と合同出展
- ・ 2026年2月4日国際講演会/2025年2月5日国際講演会の振り返り勉強会開催
<https://staff.aist.go.jp/nob.yamashita/image/2026feb4.pdf>
<https://www.campuscreate.com/news/6794/>

2025年度取材掲載記事

▽環境新聞社

[PFAS問題の克服へ 産総研が産官学シンポジウムを開催 対策技術コンソーシアムと共催、国内の知見集める | 環境新聞オンライン](#)

[PFAS対策技術コンソーシアムの役割と国際動向 国内製造業再興へ「『地政学』熟知し国際議論の舵を取れ」 山下信義](#)

▽産経新聞社

[PFAS対策 課題と技術革新の現在地 産総研が31日に講演会 参加費無料 - 産経ニュース](#)

[PFAS処理技術、日本主導で 有識者らが勉強会 4月から水道の水質基準対象にも](#)

委員の先生方の寄稿記事

- ・ [クリーンテクノロジー 2025年6月号](#) 山下信義先生、谷保佐知先生
- ・ [『INDUST』 2025年5月号 No.451](#) 山下信義先生

▽過去の関連資料等情報

<https://staff.aist.go.jp/nob.yamashita/image/publications.pdf>

2026年度取り組み計画_1

・新取り組み 「CAR-PFAS Japan Verified」

<https://staff.aist.go.jp/nob.yamashita/image/carpfasv1.pdf>

「CAR-PFAS Japan Verified」について。国内で開発されるPFAS対策技術のほとんどは3物質しか評価していないため有効性に疑問が残ります。国内開発技術の実行可能性について客観的な判断を提供するため、コンソーシアム代表の山下が「自身で使用して性能を実際に確認した技術・材料や装置」であり、海外最新技術と比較しても十分競争力のある優れた技術について「CAR-PFAS Japan Verified」を提供します。2006年に産総研が開発、海外最新技術を用いて2024年に再構築した「総PFAS測定用燃焼イオンクロマトグラフ：PFAS-CIC (0.05ng/L以下の世界最高感度フッ素測定が可能であり、ISO/DIS18127 や USEPA method 1621 をはるかに超える、後発メーカーの追随を許さない最新装置。国内で唯一、ガス測定も可能であり、ECHA規制・PFAS Total管理の鍵となる。PFAS Crisis in 2018, Koreaに関連し、韓国半導体関連団体への技術提供が決定)」と、南京大学と産総研が開発し2025年に Nature communications に公表した「PFAS-AI 2 (生成AIを用いて試料中に存在する「全てのPFAS」を特定できる 世界初の人工知能ノンターゲット測定技術)」、ドイツCornelsen社が開発し米軍PFAS対策基本技術としても採用されている「PerfluorAd+」の三つに「CAR-PFAS Japan Verified」を提供済みです。現在検証中の PFAS 新技術 4 件。



2026年度取り組み計画_2

・大型企画「Eight days of PFAS in Japan」

(地盤技術フォーラム(PFAS対策ゾーン)、9月16日～18日、CAR-PFASつくば会議2026、9月20日～23日)

PFAS対策技術コンソーシアムと産経新聞社(株式会社産業経済新聞社)の協力により地盤技術フォーラム(PFAS対策ゾーン)とCAR-PFASつくば会議2026を9月16日から23日まで8日間の合同イベント「Eight days of PFAS in Japan」として計画します。2024年に東京ビッグサイトで開催された「地盤技術フォーラム2024」はそれまでリスク評価onlyだった国内PFAS問題がPFAS環境修復技術の開発・普及にシフトしたきっかけとなった技術展示会です。その2年後となる地盤技術フォーラム2026では、海外一流研究者はもちろん、Tarek Rashwan博士(PFAS含有廃棄物のNO emission 燃焼焼却技術であるSmoulderingの専門家)やMartin Colnelsen(米軍PFAS対策技術にも採用されている、欧州で最も普及している低コスト・高効率PFAS処理技術である「Perfluoro AD+」の開発・創業者!!)など、欧米で最も普及しているPFAS対策技術企業の担当者や「CAR-PFAS Japan Verified」技術開発者にも来日講演していただき、個別面談会も予定します。海外最新技術の商談会・国内導入も可能です。

またCAR-PFASつくば会議2026(9月20日から23日)では、茨城県つくば市で同時開催されるSETAC-AP(SETAC Asia-Pacific 15th Biennial Meeting)にも参加する海外の著名PFAS専門家20名近くを招待し、毎年オンラインで開催しているPFAS専門家国際講演会を、それぞれの専門家との直接討議が可能なオフライン会議としてつくば国際会議場(予定)で開催します。その他、産総研新組織「PFAS Total Solutions」オープンラボを始め、PFAS対策最新技術を研究しているつくば市の著名研究機関ツアーも計画しますので、9月16日から23日まで8日間の合同イベント「Eight days of PFAS in Japan」に参加する事で、現在・過去・未来のPFAS対策技術の全てを吸収する事が可能です。10年ぶりのシルバーウィーク大型連休を利用して、前半はビジネス、後半は最先端研究ツアーにぜひご参加ください。

地盤技術フォーラムのパビリオン出展者募集中 会員限定の割引プランでの出展が可能

■会員企業PRブース①プラン

会員企業 1小間 (3m×3m) 9 m²

一般定価：451,000円 (税込) → 特別出展料金：360,800円 (税込)

※受付カウンター・パイプ椅子・カーペット、電気設備付

※その他の備品は有償でのご提供となります。

■会員企業PRブース②プラン

会員企業 1小間 (2 m×1 m) 2m²

一般定価：264,000円 (税込) → 特別出展料金：211,200円 (税込)

※受付カウンター・パイプ椅子・カーペット、電気設備付

※その他の備品は有償でのご提供となります。

2026年度取り組み計画_3

- ・ **第15回研究会 『PFASの計測・分解処理技術とプラズマプロセス』にて山下代表講演 2026年4月21日**
独) 日本学術振興会 R052 DXプラズマプロセス委員会主催セミナー
※会員限定ページにて図表入りの資料公開中
- ・ **第1回オンライン定例会 2026年4月24日(金)13:00-14:00**
事務局より昨年度の実施報告と今年度取り組み予定のご案内
- ・ **第2回定例会 6月第一週 ハイブリッド開催予定**
- ・ **第2回PFAS対策製品開発分科会セミナー 実施時期未定**
- ・ **Asia PFAS & Emerging Contaminants Summit 2026 (名古屋) (山下代表講演予定) 2026年11月**
- ・ **「2026 National PFAS Symposium」(The University of Queensland, Australia) (山下代表講演予定)2026年12月6-9日**
- ・ **「SEMICON Japan 2026」(PFAS-AI/WAVEBASEについて山下代表登壇予定)2026年12月9日**
- ・ **インターアクア2026 2026年12月16日～18日**
パビリオン出展、及び山下代表と出展企業によるのコンソーシアム講演を実施予定

InterAqua 2026年12月16日(水)～18日(金)開催

PFAS対策技術コンソーシアム会員用特別出展プラン

A：企業展示&説明員配置プラン

・内容：

ブース内に専用スペースを確保し、貴社の製品や技術を展示できます。
説明員を配置することで、来場者と直接商談や質疑応答が可能です。※展示するパネル等は貴社負担になります。

・特典：

- 出展企業のロゴをブース内および展示会公式資料に掲載。
- 主催者発行メルマガのテキスト広告配信1回以上紹介

こんな企業におすすめ！

- 製品・技術を直接アピールしたいが単体の出展では予算が難しい・・・
- 商談や新規顧客開拓を目指している。

【お申込み・成立条件について】

- ・1社につき2ブースまでお申込み可能です。
- ・パビリオン内の展示ブース数に応じて、1小間(9㎡)単位でパビリオン面積を決定します。
(例)2～3ブース→9㎡共用、4～6ブース→18㎡共用
- ・展示が2社2ブースに満たない場合は、不成立とさせて頂く可能性があります。

出展タイプ	出展料(税込)	ブース壁面	展示台	スポットライト	社名板	一次幹線工事費	コンセント	パイプ椅子	カーペット
1㎡	220,000	1枚/高さ2.7m	1台(幅990×奥行700×高さ900)	1灯	あり	500W	なし	なし	なし
1㎡	220,000	1枚/高さ2.7m	1台(幅990×奥行990×高さ920)	1灯	あり	500W	なし	なし	なし
4㎡	330,000	2枚/高さ2.7m	2台(幅990×奥行700×高さ900)	2灯	あり	1kW	あり	あり	あり
6㎡	385,000	3枚/高さ2.7m サイドパネルあり	3台(幅990×奥行700×高さ900)	2灯	あり	1kW	あり	あり	あり

B：チラシ設置プラン（会社としてInterAquaエリア内に正規ブースを構えている企業・団体向け）

・内容：

ブース内に専用のチラシ台と名刺受けを設置し、貴社のチラシやパンフレットを配布します。説明員の配置は任意です。

・費用：5万円（税込）

・特典：

- 出展企業のロゴをブース内に掲示
- 貴社専用の名刺受けを設置し、面談を希望する企業とお繋ぎします。

こんな企業におすすめ！

- 展示会参加は検討中のため、低コストできっかけを掴みたい。
- 製品・技術の資料を広く配布したい。

C：協賛名&ロゴ掲載プラン

・内容：

コンソーシアムのチラシに貴社の協賛名とロゴを掲示します。展示物や説明員の配置はありません。

・費用：1万円（税込）

こんな企業におすすめ！

- 展示会への参加実績を作りたい。
- 低コストで企業名を露出したい。

2026年度取り組み計画_4 欧州見学会 2027年2月末～3月上旬計画中(仮) 現時点での仮案となります。

Day	Location	Date	Contents	Comment
0	Japan-Sweden	2027/Feb 18 Thus	Flight from Japan Arrive in Stohckholm	
1	Stockholm	2027/Feb 19 Fri.	Stockholm	Science Program organized by Prof.Leo and Prof.Prof.Lutz)
2		2027/Feb 20 Sat. AM PM	Sight seeing at Stockholm Fly to German	
3	Germany	2027/Feb 21 Sun. AM PM	Pick up from airport to Hotel Discussion	Arrange some discussion with patiaciaptes , Speech from Roland
4		2027/Feb 22 Mon. AM PM	Stuttgart Unveristiy Travel to Essen	Hotel @Essen
5		2027/Feb 23 Tues. AM PM	Cornelsen Umwelttechnologie GmbH Faunhofer(Essen)	Hotel @Essen
6		2027/Feb 24 Wed.	AM: Travel to Dusseldorf Government Day @Dusseldorf Visit PFAS remediation ?] Night: Travel to Belgiun by Train. (Roland will accompany)	Government Day Topics: Soil, food screeing ,PFAS in Car etc. Hybrid session (Online s+ Onsite) ✕Can invite speaker from EPA
7	Belguim	2027/Feb 25 Thus.	Management of PFAS in Belgium and PFAS destruction in Indaver	Organized by Mr.Karl Vrancken (Indaver, Belgium) Roland will accompany.
8		2027/Feb 26 Fri.	Soil treatment company. Government/Authority	

2026年度取り組み計画_5

・ 随時取り組み PFAS対策製品開発分科会

ものづくりに関して積極的な情報交換を希望します。

自社製品の提案がしたい方や、開発にご興味のある方はぜひ事務局までお問い合わせください。

実施事項

ワーキンググループ立ち上げ支援について

PFAS対策製品の開発においては、業界の垣根を超えた協業開発が必要と考えます。そこで、本分科会では以下のようなワーキンググループ構成を目標とし、メンバー募集支援やワーキンググループ推進支援を行います。



2026年度取り組み計画_6

・ PFASOLとの連携

PFAS Total Solutions (PFASOL)とは、PFAS対応を技術支援するために、産総研に整備された新たなプラットフォームです。

産業界における持続的なPFAS対応を促進し、PFAS課題の解決と環境保全に貢献します。

[PFASOL詳細：https://unit.aist.go.jp/env-mri/pfasol/](https://unit.aist.go.jp/env-mri/pfasol/)

PFAS対策技術コンソーシアムは業界団体として、PFASOLとも連携しながら活動を推進致します。

▽関連紹介 谷保佐知先生の講演配信

PFAS分析・標準化マスター講座～信頼できる分析と国際標準の最新動向～

https://www.aist-solutions.co.jp/events_webinars/paid_seminar_202604130430/

※本講演へのお問い合わせは株式会社AIST Solutionsまでお問い合わせください。

2026年度取材掲載記事

- ・ **読売中高生新聞 4月24日発刊予定**
山下信義代表への取材記事が掲載されます